

令和5年度一般財団法人泉佐野市文化振興財団事業計画

令和5年度は、文化会館ならびに各公民館の指定管理者公募にて、泉佐野市から5年間の選定を受け2年目の年となります。

財団は公募時に掲げた理念や方針、目標を具現化して参るため、これまでの「経験と実績」を源泉とながらも、急速な情報化社会の発展やコロナ禍などの「変化への対応力と創意工夫」をもって、新たな構えを持って運営して参ります。

そして、引き続き「利用者ニーズを反映した施設運営」、「安全・安心で快適な施設管理」「市民参与と多様なジャンルでの文化振興」の三つを基本方針としながらも、新しいスマートライフの中での事業を推し進めて参ります。

1. 貸館業務

- ① 時節の感染症拡大防止策を実施し、安心して利用頂ける施設内環境を目指します。
- ② 利用登録者に施設の安全性を示した案内を周知し、コロナ禍での施設利用減少の回復に注力します。また、大・小ホールにおいては、座席や扉に抗ウイルスコーティングを施しましたので、安全性アピールしつつ施設の利用拡大に繋げます。
- ③ 令和5年度からは、施設使用料やチケット販売などの決済手段において、現金・振り込みに加えクレジットカード、スマートフォンでの決済を可能とします。
- ④ Web会議などの利用増に併せて、文化会館内の光回線整備の強化を具現化して参ります。
- ⑤ イベント会社との連携など、貸館公演での施設利用を促進します。
- ⑥ ワンストップサービスの充実を図り、きめ細やかなサービスの提供に努めます。
- ⑦ 今後は文化会館・生涯学習センターで運用しているクラウド型施設予約システムを公民館でも運べるよう検討します。
- ⑧ 各公民館のクラブ活動の活性化を図るべく、クラブ登録の条件を泉佐野市と協議の上緩和し、地住民による自主的な生涯活動をサポートして参ります。

2. 施設の維持管理業務

- ① 感染症拡大防止策として、各施設の清掃員、職員による日々の消毒、除菌を含めた清掃活動を強めます。また、感染拡大予防として、館内の空気調和機・換気システムの連続的な運転を実施します。
- ② 文化センターの経年劣化による設備機器の改修・更新に備えて、第3次建築設備更新計画案を泉野市に提案、協働し、安全で安心できる施設の維持管理に努めます。
- ③ 各施設の消防計画や感染症拡大時などの危機管理マニュアルを現状に合致した内容に改定し、不の事態・事故に備えます。
- ④ 昨今の化石燃料費の高騰も鑑み、第3次環境保護方針・計画を策定し、また年次目標を設定し、熱水の効率的な運用ならびに廃棄物の抑制をおこない、環境にやさしい施設づくりに取り組みます。
- ⑤ 建物、設備機器の法令点検やメンテナンス業務を計画的に実施し、施設を最良の状態に保てるよ努めます。
- ⑥ 軽微な修繕や点検業務については、職員及び従業員で実施し、維持管理経費の軽減に努めます。
- ⑦ 佐野・長南公民館は、文化センターと同様に建物や設備機器の老朽化が大きな問題となっており、よって建築設備更新計画案を泉野市に提案し、利用者の安全性を最優先に考えた、安心して利用できる公民館運営を目指します。
- ⑧ 令和元年度から管理運営が開始しました日根野公民館については、他施設の管理を長期にて手掛けてきた実績を活かし、今後の中期的な建物及び設備機器の修繕、更新計画を立案して参ります。

3. 文化振興事業

現在コロナ禍における社会情勢が一定の平常化にシフトしつつあるなか、文化芸術などの鑑賞機会欲求は、加速度的に大きくなってきております。

この状況を好機と捉え、「一般鑑賞型事業」「賑わいづくり事業」を軸に公演を実施し、新たな層掘り起こしを行いつつ、ホールに賑わいを取り戻すことに注力いたします。

併せて、都度の感染防止ガイドラインに準じた対応を施しながらも、有観客公演を主体とした、賑いと臨場感を体感できる事業計画を推進して参ります。

また、今日まで培ってきた経験と実績、更には泉野市、泉野市文化協会、泉の森コンクール委員会、泉野市音楽家クラブ、泉野市おや子劇場など地域団体との連携を最大限に活かした文化振興事業を展開します。

なお、全体の文化振興事業は、下記の6つの分野を主軸としてバランスの取れた事業計画を提案し参ります。

また、公民館事業については、先に記載した関係諸団体と連携しつつ、今までの公民館事業では開の難しかった演奏会や講演会等を企画・実施して参ります。

① 文化振興事業編成

概ね、次の事業編成を計画しております。

- 市民参加型事業
- 音楽家・芸術家等の発掘・育成・普及事業
- オーケストラ・室内楽事業
- 一般鑑賞型事業
- 地域文化の発展を目指した事業
- 賑わいづくり事業

② 広報・宣伝

年3回発行の情報紙「エブノ泉の森ニュース」を市内ならびに近隣世帯への折り込みとWeb広にて周知しつつ、近隣の商業施設や府内外の劇場等にチラシやポスターの掲示、配架を行い、ホーの様々な情報提供に努めます。

また、時代に沿った活動として「Twitter」や「Facebook」「LINE」「Instagram」などのSNSによる情報発信を拡張して参ります。

地元のケーブルテレビやミニコミ誌と連携し、公演情報の案内にとどまらず、施設の魅力や特色アピールして参ります。

③ 情報収集

利用者の意見を把握するために公演実施の際、来場者アンケートの配布を行い、情報収集に努めます。項目については個人情報に抵触しない範囲内で「公演の感想」「交通手段」「年齢」「居住」「性別」など意見をご記入いただきます。

また、文化会館公式「Twitter」や「LINE」などSNSでの「つぶやき」や「コメント」をすくい上げ、ダイレクトな感想や意見を活用して参ります。

また、様々な団体や協議会等の研修や講座に参加することにより、他館との交流を深め、他施設近隣地域の文化情報等の収集に努めます。

4. ホール会員組織

近年の会員数の減少に加え、世の中のデジタル化の急伸や生活様式の変革を鑑み、新たな無料メンバー組織「izumeeetS（いずみーつ）」を立ち上げ運営・推進しております。

登録者数は現在800名を超え、旧会員組織「友の会」からの移行率は約54%となっています。

当初目標として令和4年度内に1000名の会員登録を目標としており、今後も精力的に新会員の加に努めて参ります。

また、会員組織に付随した文化振興事業のサポーターとして活動いただくボランティアスタッフの集や育成にも注力し、泉の森ホールの文化振興において、今まで以上に市民と協働、参画できる組織共に構築して参ります。